

舞楽

Bugaku

4月29日(祝) 11:00~

11:00 Saturday April 29 神前舞台 Map 10
奉納/楽友会

振 鉾

舞楽会の最初に舞われる曲です。天地の神々と先霊を祀(まつ)る意味があるとされています。左右の舞人一人ずつが、笛・太鼓及び鉦鼓(しょうこ)だけの伴奏で舞います。周の武王が戦勝を祈る光景といわれています。



桃李花

(左方の舞)

唐の高祖李淵(りえん)の頃に作られた草木を主題とする 21 曲の中の一つといわれ、桃花最盛の 3 月 3 日に曲水(きみすい)の宴(えん)で奏された曲ともいわれています。もとは内教坊(ないきょうぼう) (唐の高祖が設置した制度にない、宮中に置かれた女子のための技芸の教習所)の女舞です。左方の四人舞で、舞人は虫絵装束(むしえしょうぞく)を着て、冠に花を挿して舞います。

皇 仁 庭

(右方の舞)

仁徳天皇の即位の時に百濟(くだら)の王仁(わに)が難波津(なにわづ)の歌を作って祝ったのがこの曲であろうといわれています。この曲は破(は)および急(きゅう)の二部から構成されており、破は無拍子の序吹(じょぶき)に始まり、途中から拍子になり、急は唐拍子(からひょうし)という軽快な拍子になります。右方の四人舞で、舞人は襲装束(かさねしょうぞく)の右肩をぬいで、面と牟子(むし) (頭部を覆う蓑)を付け、この舞のための特有な甲(かぶと)を被って舞います。

長 慶 子

醍醐天皇の孫・源雅雅(みなもとのひろまさ)の作といわれている名曲で、慶祝の意を表し、慣例として舞楽会の結びに奏されます。

※大陸系の「舞楽」は、左方(さほう)の舞(中国系)と右方(うほう)の舞(朝鮮系)に大別されます。

Bugaku belongs to the genre of Gagaku, which is a form of ancient court music. The musical composition was modeled on ancient music and dance that originated in China and the Korean Peninsula. Gagaku flourished in the Heian period (794-1185) and is still being performed at the Imperial Court, shrines, and temples in Japan. Gagaku with dance is called Bugaku, and Gagaku without dance is called Kangen.

能・狂言

Noh, Kyogen

5月2日(火) 11:45~

11:45 Tuesday May 2 神前舞台 Map 10
奉納/能楽協会

清 水

主人は太郎冠者(たろうかじや)に手桶を持たせ、野原の中の清水へ茶の水を汲みに遣わせます。ところが面倒に思った太郎冠者は、手桶を置いて帰り、主人に鬼に襲われたと嘘をつきます。主人は秘蔵の手桶を借しく思い、自ら清水まで取りに行こうと言い出します。しかし、太郎冠者は嘘がばれてはいけなく、鬼に変装して主人を脅し、調子に乗って、自身の待遇改善をし始めましたが…。



須磨源氏

日向宮崎神宮の神宮・藤原興範(ふじわらのおきのり)は、伊勢参宮の途中、須磨の浦を訪れます。そこへ老人が現れ、背負った薪を下ろし、名木「若木の榎」を眺め、光源氏の生涯を物語る。実は自分が光源氏であると仄(ほの)めかして姿を消します。月が出て夜になり、寝ている興範の夢の中に、ありし日の雅な姿で現れた光源氏の霊が、青海波(せいがいは)の舞を見せると、夜明けと共に姿を消します。半能「須磨源氏」では、興範の前に光源氏が姿を現わす場面から演じられます。

Noh is a major form of classical Japanese musical drama. It succeeds in expressing deep beauty and emotion with a minimal plot; performers move very little in a restrained manner, and their voices reveal no sentiment.

Kyogen refers to short, humorous plays performed along with Noh. It was established in the Muromachi period (1333-1573). In contrast to Noh, Kyogen has clearer spoken lines accompanied with dramatic movements.



■ 狂言(和泉流)清水

シテ 三宅 右矩
アト 金田 弘明

■ 半能(観世流)須磨源氏

シテ 坂 真太郎 後 見 山崎 正道
ワキ 緒田 善博 奥川 恒治
ワケウレ 森 常太郎 地 謡 観世 喜正
笛 寺井 宏明 遠藤 喜久
小 鼓 清水 和音 馬野 正基
大 鼓 大倉慶乃助 鈴木 啓吾
太 鼓 梶谷 英樹 永島 充
佐久間二郎

邦楽邦舞

Hogaku, Hobu

5月2日(火) 15:45~

15:45 Tuesday May 2 神前舞台 Map 10
奉納/日本舞踊協会・長唄協会

【長唄】 おい まつ 老 松

長唄の中でも踊り、演奏ともに見どころ、聞きどころの多い演目で、曲名が示す通り、老松のおめでたさから唄い始め、松にちなんだ風物が表現されます。曲調は抑揚に富んでおり、淡さ、華やかさがうまく配分されています。



【長唄】 きみ よしろうくばい 君が代松竹梅

松竹梅を詠みこんだ曲はいくつもありますが、その中でも代表的な曲です。おめでたい曲で、格調の高さの中にも華やかさとやわらかな雰囲気があります。舞い手の変化に富んだ踊りが楽しめます。

Hogaku literally means "Japanese music". However, it usually does not include ancient court music nor folk songs, but refers to Japanese music which developed in the modern era (after around 1600). Hogaku can be divided into narrated stories, ballad dramas (Joruri), and song or chanted pieces, including long epic songs (Nagauta) and short ballads (Kouta).

Hobu is a classical Japanese dance which was formed in the 15th century. Hobu gives a strong dramatic impression as a result of the combination of a dance called Odori, principally characterized by jumping movements, and another dance called Mai, principally characterized by circling movements and peculiar poses.

■ 老松

立 方 花柳園喜輔 立 方 吾妻 寛穂

■ 君が代松竹梅

唄 鳥羽屋里長 笛 福原 百貴
鳥羽屋三右衛門 小 鼓 福原鶴之助
鳥羽屋長秀 小 鼓 藤倉 華風
三味線 岸屋茶次郎 大 鼓 堅田喜三郎
岸屋茶吉郎 太 鼓 藤倉 昌風

三 曲

Sankyoku

5月3日(祝) 12:00~

12:00 Wednesday May 3 神前舞台 Map 10
奉納/日本三曲協会

しょうじょう つる 松上の鶴

(山田流琴曲 箏楽会)

明治 41 年の勅題「松上の鶴」を歌詞として山登万和(やまとまんわ)が作曲しました。大内山(宇多天皇の離宮が置かれた場所)にある相生の松で両陛下をあらわし、東の峰の若松で東宮(皇太子)をあらわしています。また、松が風に吹かれる音や、雛鶴たちの声を配しており、皇室の繁栄を寿いでおめでたい曲です。

ちどり きよく 千鳥の曲

(生田流琴曲 鳳友会)

吉沢検校により作曲され、八橋検校作曲の「六段の調」と並んで広く知られています。吉沢自身が考案した「古今調子」という雅楽の箏の音階を取り入れた新たな箏の調律方法が使われています。歌詞は「古今和歌集」「金葉和歌集」から千鳥を詠んだ和歌二首から採ったもので、千鳥の鳴く声、磯の松風、波の音などが美しい旋律で表現されています。

Sankyoku refers to music and musical ensembles involving the traditional instruments Koto, Sengen, and Shakubachi.

Koto is a traditional Japanese stringed instrument made of wood. It is about 180cm long and about 30cm wide. Thirteen strings are stretched over bridges, and the pitches are determined by the positions of the movable bridges. Sengen is a stringed instrument similar to the banjo. A plectrum is used to strike its three strings. Sengen can be played solo, in ensembles, or as accompaniment for Kabuki plays, Bunraku plays, or folk songs. Shakubachi is a woodwind instrument made of bamboo. Its simple holes produce a characteristically curious change in scales and tone coloration.



薩摩琵琶

Satsuma biwa

5月3日(祝) 14:30~

14:30 Wednesday May 3 神前舞台 Map 10
奉納/正伝士風薩摩琵琶士弦会 普門院流二世宗家

さくら い えき 櫻井の駅

作詞 井上 徳定
演奏 橋本 光葉
徳 将城
中村 光彰



建武の中興の王政復古も東の關、足利尊氏との対立により再び天下が風雲急を付ける時、兵庫の戦いのさむらうとする楠木正成、正行父子の別れの心情を歌った曲です。かつて正成が帝から賜った菊水の刀を正行に形見に贈り、正成43歳、正行11歳の5月の別れでした。

おけ ほざ ま 桶狭間

作詞 中村 秋郊
演奏 森岡 史城

永禄 3 年 (1560)、4 万 5 千の大軍を率いて上洛を企て、尾張へ進軍した今川勢を、織田信長が 3 千の兵をもって風雨の中を急襲し、酒宴中の敵を打ち破ったことで、信長の天下統一への道が開けます。この桶狭間の戦いには、日本の歴史を変えた 3 人の英雄、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康が登場します。

Biwa is an oriental stringed instrument. It originated in Persia and Arabia, then came to Japan through India and China during the Nara period (710-794). It is made of wood, its body is over shaped with four or five strings, and a plectrum is used to play.

At the beginning of the performance, Waka (traditional Japanese poems) by Emperor Meiji and Empress Shoken will be recited.

※ご神前での奉納中の撮影・録音は固くお断りいたします。The taking of photographs, sound recordings or video filming is strictly prohibited.

あらし吹く世にも動くな人ごころ
いはほにねざす 松のごとくに
昭憲皇太后御歌
いかさまに身はくたくともむらぎもの
心はゆたに あるべかりけり

Waka poetry by Emperor Meiji and Empress Shoken